

おいけ めいけ
男池（鴨池）、女池（冬季に飛来するカモやコハクチョウ）



男池（鴨池）のカモの群れ



女池に飛来するコハクチョウ



「男池（おいけ）」は鴨池とも呼ばれ、近くの「女池（めいけ）」とともに江戸時代に灌漑用として設けられた。男池一帯は昭和46年（1971）、播磨中部丘陵県立自然公園に指定されており、男池周辺には野鳥観察小屋やキャンプ場、グラウンド、小野ゴルフクラブなどがあり、一年を通して楽しむことができる。

冬季になると、男池にはシベリアの極寒を避けてカモの群れが飛来し、松林に囲まれた周囲4kmの水辺に群れが広がる。カモは9月頃から姿を見せはじめ、翌年3月まで滞在する。最盛期にはマガモやヒドリガモ、カルガモなど9種類、約1,500羽が群れる。

女池にはコハクチョウが飛来するが、餌となるマコモが減り、その数も減少している。このため愛鳥家らは「きすみの野鳥を守る会」を結成し、餌付けとマコモ繁殖に取り組んでいる。

池に群れる渡り鳥や舞い降りるコハクチョウの優雅な姿は、この地域の固有な景観を特徴づけるものであり、播磨に冬の訪れを告げる「冬の使者」として親しまれている。

出典：ひょうご風景100選 風と歩く（朝日新聞神戸支局）、兵庫百景Ⅰ（神戸新聞総合出版センター）、播磨のため池（神戸新聞総合出版センター）、小野市HP、小野市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP

| | | |
|--|--------|--|
| ふるさと兵庫を構成する主要な景観 <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観 | 所在地 | 小野市来住町 |
| | 百選等実績 | ひょうごランドスケープ100景（兵庫県） 風と歩く「ひょうご風景100選」（朝日新聞） |
| | 祭礼、行事等 | |
| | 関係人物 | |
| | 活動団体等 | きすみの野鳥を守る会 |
| | 関連する景観 | 小野アルプス |